

平山 タカヒサ

市民とスクラム！市政にトライ！

2023年
議会報告 vol 27

自宅 〒891-0116
鹿児島市上福元町5779-5
電話 099-267-0300
携帯 090-8769-6584



2023年第3回定例会

2023年第3回定例会は、9月15日の最終本会議において、補正予算8億3,490万3千円や条例その他の案件について可決し、閉会した。今年度の歳出総額は、2,864億2,109万3千円となる。

今回の補正予算の主なものは、総務費では客引き行為等対策費、民生費では障害者福祉施設等の整備費、農林水産業費では降灰地域防災営農対策事業費、商工費では企業版ふるさと納税を活用した鹿児島レブナイズのファン拡大等に要する経費、教育費では鹿児島商業高等学校の学科再編及び男女共学化に伴う学校施設の改修

費等です。

条例その他の案件については、鹿児島市営合葬墓を設置するための条例制定、武岡公園を整備するための土地取得、水槽付消防ポンプ自動車の購入等です。



今議会において、我が会派は「地方財政の充実・強化を求める意見書」を提出し、全会一致で採択された。意見書では、コロナ禍での経済社会活動の回復や原油価格・物価高騰対策、子育て支援、地域医療の確保、児童虐待防止対策、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援等、必要な財政措置を国へ求めた。

鹿児島商業高等学校の学科再編 及び男女共学化

2024年度から商業高校の学科再編・男女共学化に伴い、女子トイレ・更衣室の整備、酸素ルームやトレーニング機器、女子更衣室のロッカー等必要な備品を購入する。学科はこれまでの商業科や情報処理科等を新たに「ビジネスクリエ



イト科」、「情報イノベーション科」、「アスリートスポーツ科」に再編。制服も変わる。なお校名・校歌は変更しない。

客引き行為等対策事業

天文館連絡協議会など5団体が連名で客引き等の規制強化を求める声を受け、市独自の条例を制定。天文館周辺で接待を伴わない居酒屋等の客引き等を防止する。今後、周知・広報活動に取り組むほか、新たに警察OBを採用する。

鹿児島市営合葬墓条例制定

星ヶ峯霊園内に市営の合葬墓が整備され、12月から募集を開始する。核家族化が進む中、個人でお墓の管理が困難な方やお墓を持つための費用が安く済むことから我が会派が要望していた。共同で焼骨を埋蔵するための施設を地下に設置し、地上に上屋付きの参拝所等を設置する。埋蔵規模は3,000柱。使用料は1柱につき合葬室が38,000円。個別埋蔵室（10年保管後合葬室へ）88,000円。1年以上本市に在住するなど使用者の要件がある。



平山タカヒサのプロフィール

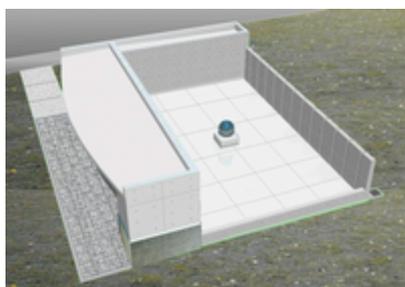
1967年 11月30日名瀬市（現奄美市）生まれ
伊津部小学校→西谷山小学校、谷山中学校
鹿児島中央高校、県立短期大学II部商経科卒業
1987年 鹿児島市役所入庁
2015年 9月30日市役所退職
2016年 4月市議会議員選挙に出馬。初当選。現在2期目

市政報告

代表
質疑

問 市営合葬墓について、使用者の資格条件や申請方法。本人死亡時の死後委任事務契約とは。

答 使用者の資格は、①本市に住所を有し、1年以上居住しており、本市内の墓地及び納骨堂のいずれの使用権も有しておらず、埋蔵又は収蔵していない焼骨を保有している方、②市営墓地又は市営納骨堂の使用者で、当該墓地又は納骨堂を返還するための改葬先として合葬墓を使用する方、③本市にある共同墓地の使用者で、当該墓地を返還するための改葬先として合葬墓を使用する方。また、④その他市長が特別の理由があると認める方として、死後事務委任契約の受任者を規則で定めることとしている。申請については、窓口、郵送などで受け付ける予定。死後事務委任契約とは、生前に委任者が、亡くなられた際の死亡届の提出、葬儀の手配、遺骨の埋蔵、医療費の支払いなどの事務手続きを、第三者に委任しておく契約。契約内容は文書確認。

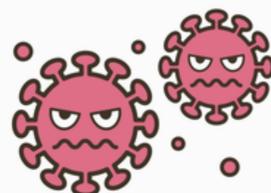


問 マイナンバーカードについて、保有者数と割合。頻発しているトラブルの種類と要因及び本市の現状。自主返納者数は。

答 本市の令和5年7月末時点の保有枚数は46万2,041枚、保有枚数率は77.3%。トラブルについては、国によると健康保険証や共済年金、障害者手帳情報等の紐付けに誤りがあり、その多くは地方公共団体情報システム機構へのオンライン照会の際、氏名・生年月日・性別・住所の基本4情報全ての照合を行わなかったことが原因。本市での紐付け誤り等の事案は、確認されていないが、国等の他機関が管理する情報については、本市で把握する手段はない。本市への返納件数は、4～7月末までに29件。

問 新型コロナウイルス感染症の年代別の感染状況。クラスターの発生状況と公表の必要性。医療現場のひっ迫状況は。

答 第33週の定点把握における本市の新規感染者の年代別割合は、10歳未満が39%、10代18%、20代6%、30代11%、40代7%、50代8%、60代4%、70歳以上7%。10代以下の割合が多い。福祉施設等での新型コロナの集団発生数は、8月は25日時点で13件と前月と比べて2件の増。当該集団発生報告の状況は、毎週ホームページに掲載する「鹿児島市感染症情報」の「流行の傾向等」でお知らせしている。医療提供体制については、インフルエンザ等の他の感染症も流行していた6月中旬から7月にかけては、外来を受診しづらい状況もあったと聞いているが、現在は解消されているように。



問 多機能複合型スタジアム整備について、市長と知事、県当局との意思疎通は、自信をもって出来ていると言えるか。関係団体への協力の要請を自ら行っているか。

答 県市意見交換会のほか、毎月定期的にまちづくりに関して意見交換を行っている。意思疎通は図られているものと考えている。関係団体に対しても、様々な機会を捉えて意見交換を行っており、今後、県の利活用検討委員会においてゾーニングの議論が本格化することから、北ふ頭におけるスタジアムの実現可能性が位置付けられるよう、県や関係団体との意思疎通には、これまで以上に意を用いたい。

社民・立憲・市民フォーラム

- 団長 大森 忍 (防災福祉子ども委員会)
- 副団長 森山 きよみ (産業観光企業委員会)
- 幹事長 中原 力 (市民文教委員会)
- 政審会長 まつお 晴代 (市民文教委員会)
- 秋広 正健 (建設消防委員会)
- 平山 タカヒサ (総務環境委員会)
- 向江 かほり (総務環境委員会)